

24

Webサイトを活用した情報発信と情報収集、閲覧動向に関する研究

研究代表者：白阪 琢磨（国立大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター）

研究協力者：湯川 真朗（有限会社キートン）

研究要旨

Web サイト www.haart-support.jp は、2004 年に「多剤併用療法服薬の精神的、身体的負担軽減のための研究」班で開設し、「服薬アドヒアランスの向上・維持に関する研究」班を経て、本研究班まで継続的に情報発信を行なっている。

2007 年 2 月 15 日からはアクセス解析ツール（Google Analytics）を導入し、アクセス数の集計や、どのようなキーワードで当サイトに訪れているかなどを分析している。また Web サイト全体に対するアンケートに加え、個別ページからもその内容の有用性について検討するため、ユーザーが評価できるシステムを導入している。（ページアンケート）

本報告書では平成 26 年度に新たに追加したコンテンツの報告と、Web サイト全体のアクセス解析を行い、その閲覧状況を報告する。

研究目的

現在、医療機関やNGO、他の研究班などが多数の Webサイトを運営し、情報発信を行っている。当サイトはそれに先駆け2004年に開設し、患者さん向けから医療関係者向けまで幅広い情報を発信すると共に、新たな研究や新薬を追加するなどアップデートを重ねてきた。

このような流れの中で、アクセス状況を定期的に把握するとともに、効果的な情報発信の手法を構築することを目的とする。

研究方法

(1) 情報発信

分担研究者の研究内容や研究成果を随時ホームページ上に公開する。

(2) アクセスログの解析

各ページにはアクセス解析のためのトラッキングコードを埋め込み、訪問者数やページビュー数、どのようなキーワード検索されてきたかなどを解析できるようにしている。

(3) 個別ページから送信するページアンケート

各ページ下部には、「このページは役に立ちましたか？」との設問に下記の評価をクリック操作で選択、送信できるシステムを設置している。

図1 ページアンケート

これにより、閲覧者はコンテンツを閲覧した直後にその評価を送信できる。どのページから送信されたのかも把握できるため、ページごとに評価を分析できるようにしている。

(4) Webサイト全体に関するアンケート

サイト全体に関するアンケート投稿ページを設置している。設問内容は以下のとおり。

- このホームページをどこでお知りになりましたか？
【選択項目】検索エンジン／他のホームページからのリンク／友人・知人に教えてもらった／その他
- お薬情報コーナーで役に立った内容はどれですか？
【選択項目】薬カード／Q&A／患者向説明文書（翻訳）／添付文書
- このホームページに追加してほしい情報があれば、ご記入ください。
- このホームページに関するご意見、ご要望があ

ればご記入ください。

5. 抗HIV薬の服薬を支援する方法を検討するため、定期的にアンケート調査を実施したいと考えています。アンケート調査のお知らせをご連絡してもいい場合は、メールアドレスをご記入ください。
6. 年齢
7. 性別
8. あなたの立場についてお教えてください。

【選択項目】患者／患者の家族・友人等／医療関係者／その他

研究結果

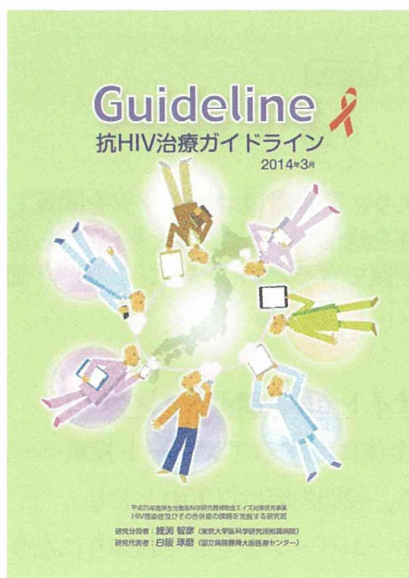
(1) 情報発信

- 1) 感染初期の診療（急性感染検査外来）

検査代（16,000円）が2015年3月末まで延長された。また検査は月1回、予約は検査日直前の水曜日の深夜24時（木曜日の午前0時）までに変更となった。（平成26年4月3日）

- 2) 抗HIV治療ガイドライン（鯉淵智彦）

2014年3月版PDFをアップした。（平成26年4月17日）



- 3) 推奨処方エビデンスとなる臨床試験（鯉淵智彦）

SPRING-2試験およびSINGLE試験を追加した。（平成26年4月21日）

推奨処方エビデンスとなる臨床試験

ツイート
平成26年（2014年）4月21日更新：SPRING-2試験およびSINGLE試験を追加しました。

試験名をクリックすると、概要のページが表示されます。

	TDF/FTC	ABC/3TC
EFV	ACTG5202 → NEJM 2009; 361:2230-2240 GS934 → NEJM 2006; 354:251-260 STARTMRK → GS102 → SINGLE → NEW	ACTG5202 → NEJM 2009; 361:2230-2240 CNA30024 → CID 2004; 39:1038-1046
ATV/r	ACTG5202 → NEJM 2009; 361:2230-2240 ALERT → AIDS Res Ther 2008; 5:5 CASTLE → Lancet 2008; 372:646-655 GS103 →	ACTG5202 → NEJM 2009; 361:2230-2240
DRVr	ARTEMIS → AIDS 2008; 22:1389-1397 AIDS 2009; 23:1679-1688	
RAL	STARTMRK → Lancet 2009; 374:796-806 SPRING-2 → NEW	SPRING-2 → NEW
D70	SPRING-2 → NEW Lancet Infect Dis 2013; 13: 927-935	SPRING-2 → NEW Lancet Infect Dis 2013; 13: 927-935 SINGLE → NEW N Engl J Med 2013; 369:1807-1818
EVG/BI/r TDF/FTC	GS102 → J Acquir Immune Defic Syndr 2013; 63: 96-100 GS103 → J Acquir Immune Defic Syndr 2013; 62: 483-486	

◎赤字が主要な比較試験。
 ◎グリーンは対照群となっているもの。

診療の参考となるその他の臨床試験

- ◎早期の抗HIV治療が二次感染予防となるかを評価（[HPTN052試験](#) →）
- ◎TDF/FTC製とABC/3TC製との40週後の骨密度評価（[ASSET試験](#) →）
- ◎CD4数に応じて治療開始と中断を繰り返す寛大治療群とを比較（[SMART試験](#) →）
- ◎キードラッグ2剤のみを使用した場合の効果（[ACTG5142試験](#) →）
- ◎治療開始基準の参考となる大規模コホート（[NA-ACCORD](#) →）
- ◎抗HIV薬と心動機薬のリスク評価（[D:A:D試験](#) →）

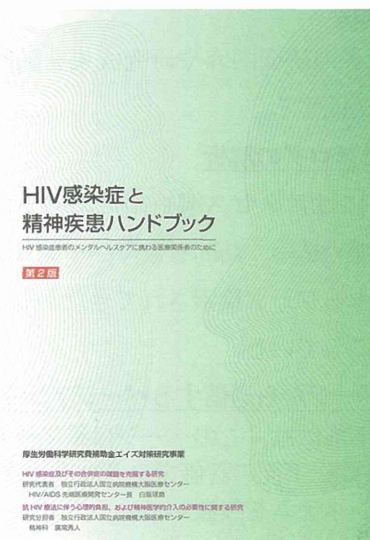
◎平成26年（2014年）4月21日更新：SPRING-2試験およびSINGLE試験を追加しました。
 ◎平成26年（2014年）3月5日更新：GS102臨床試験およびGS103臨床試験を追加しました。
 ◎平成25年（2013年）6月5日更新：診療の参考となるその他の臨床試験にHPTN052試験を追加しました。

研究分担者：東京大学医学部附属病院 感染症内科 鯉淵 智彦

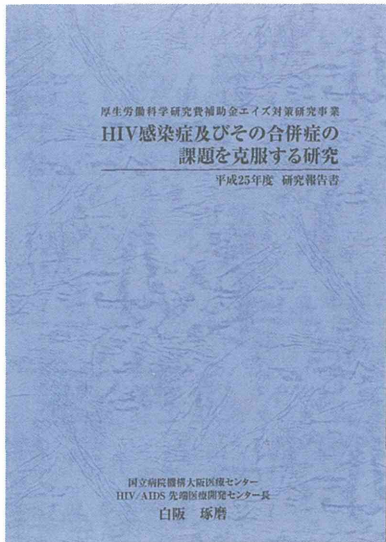
PAGE TOP

- 4) HIV感染症とメンタルヘルス（廣常秀人）

HIV感染症と精神疾患ハンドブック第2版のPDFをアップした。（平成26年6月20日）



5) 平成25年度報告書PDFをアップした。(平成26年6月11日)



6) 地域HIV看護の質の向上に関する研究(佐保美奈子)

研修・講習会のお知らせ、HIVナースネットワーク会議の議題／申し込み用紙のダウンロード、コンドーム工場研修と交流会、その他の研修・講習会の日程等を掲載し、随時更新した。

またこれから開催する研修会では、ホームページからも申し込みができるようにした。

地域HIV看護の質の向上に関する研究

ウェブサイト

研究分担者: 大阪府立大学看護学研究所 佐保美奈子

研修・講演会のお知らせ

終了した研修・講演会

- 第9回 2014年10月9日(木)～10月11日(土) 大阪府看護協会 秋谷研修センター 詳細はこちら
- 第8回 2014年6月26日(木)～6月28日(土) 大阪府看護協会 秋谷研修センター 詳細はこちら

HIVナースネットワーク会議

ちらし(準備中)
第3回HIVナースネットワーク会議議題/申し込みFAX用紙

大阪府内高等学校等への出前講義スケジュール

- 平成27年 2月18日(水) 午後 夕陽ヶ丘学園高等学校
- 平成27年 2月3日(火) 午前・午後 堺市立柳井高等学校
- 平成27年 1月22日(木) 午前・午後 大阪府立成美高等学校
- 平成26年 11月13日(木) 午後 大阪府立堺東高等学校
- 平成26年 6月19日(水) 午前・午後 大阪府立真珠高等学校
- 平成26年 6月5日(水) 午後 大阪府立東高等学校

見学希望の場合は、「お問い合わせ」ページよりご連絡ください

コンドーム工場研修と交流会

ちらし(準備中)

その他の研修・講演会

- ティーンズのための支援者研修 平成26年8月20日(水) 堺市
- 薬物依存・危険ドラッグについて知る会 平成27年3月7日(土) 堺市
- セクシュアリティ教育研究会

7) 研修会のお知らせを随時更新した。

- ・社会福祉施設向け (山内哲也)
- ・訪問看護師研修会 (HIV陽性者の在宅支援を考える) (下司有加)

研修会のお知らせ

ウェブサイト

(平成27年1月9日現在)

- ・HIV/エイズ啓発研修 -福祉施設従事者向け
- ・訪問看護師研修会 (HIV陽性者の在宅支援を考える) -訪問看護師向け

日時	名称・会場	参加費	お問い合わせ・申し込み先
平成26年4月22日(火) 18:00-19:30 終了しました	「HIV感染者の施設入所」 HIV・エイズ研修会 総合病院 阪神中央病院 中村 〒千早赤松野市-1326	無料	総合病院 阪神中央病院 中村 電話 0479-63-8111
7月18日(金) 16:00-17:30 終了しました	東ブロック会議: HIV・エイズ講座 福祉社会福祉協議会 大阪府大阪市東区高島7丁目16-1	無料	福祉社会福祉協議会 日置 (Dお着) 電話 06-4254-3336
7月24日(木) 13:30-15:30 終了しました	HIV/エイズ啓発研修 社会福祉法人ほたか会 介護研修センター 前橋教室 〒府中市社町 1675-7	無料	社会福祉法人ほたか会 電話 027-256-7605
9月4日(木) 14:00-17:00 終了しました	高齢者介護施設のHIV/エイズ研修会 新野地区 ちから「PDFファイル」> 大阪府医師会 本部8階大ホール	無料	大阪府医師会 事務局 電話 06-6944-1142
9月14日(日) 13:00-15:00 終了しました	HIV/エイズ啓発研修会 同志大学 〒名古屋市中村区稲葉町7-1	無料	同志大学 事務局 電話 052-264-0695
10月18日(土) 13:00-17:00 終了しました	社会福祉施設 HIV/エイズ啓発研修会 高松市社会福祉センター 会議室4 〒高松市末広町115-1	無料	社会福祉法人ゆずりは会 葉の花 担当: 高松 (マツタケ) 電話 027-226-6090 FAX 027-226-6126 電話・FAXでお申し込みください (定員 70名)。
11月5日(水) 13:15-16:40 終了しました	高齢者施設のための感染症対策研修会～ノロウイルスからエイズまで～ ※詳細はこちら「PDFファイル」> RCC文化センター 6階 601会議室 大阪市中央区本町5-11	無料	広島県感染症・検査センター 西川 電話 082-250-2041 FAX 082-254-7114 平成26年10月24日(金)までにFAXでお申し込みください。(定員: 60名程度)
11月17日(月) 14:00-16:30 終了しました	エイズ研修会 兵庫県健康委員会の経 第3・4研修室	無料	兵庫県健康委員会 健康管理課 吉岡 電話 0796-26-3660 (直通)
12月19日(金) 13:30-15:30 終了しました	HIV/エイズ研修会(老若・特養・グループホーム等の施設従事者対象) 明石健康福祉センター 会議室	無料	明石健康福祉事務所 健康管理課 担当: 藤田美子 電話 078-917-1627 FAX 078-917-1138
12月20日(土) 14:00-16:00 終了しました	医療・福祉関係者へHIVの知識・理解の啓蒙を行う研修会 対象: 地域医療・福祉関係50名程度 場所: 池田市教育委員会 501号 ※詳細はこちら「PDFファイル」>	無料	神戸市保健所予防衛生課 竹内 電話 078-322-6789 ※お申し込みは左記のPDFを印刷し、ご記入の上、FAXをお送りください。
12月26日(金) 10:00-12:00 終了しました	エイズ啓発研修会 葉の芽の会 内会議室 (〒508-0204 岐阜県津川市高山1311-14)	無料	社会福祉法人 葉の芽の会 葉の芽の会 電話 0573-72-2176 メール asanohata@akenet.or.jp at[at]を@に替えて送信してください。
平成27年1月24日(土) 13:00-17:00	社会福祉従事者の感染症対策研修会 場所: 日本教育会館 707会議室 東京都千代田区一ツ橋2-6-2 TEL 03-3230-2831	無料	千代田区障害者福祉センター 担当: 須永 (スナガ) 電話 03-3291-0600 FAX 03-3291-0608 電話・FAXでお申し込みください (定員 100名)
平成27年3月11日(水) 14:00-16:00	社会福祉法人でのHIV/AIDSの受け入れ課題～受け入れのためにまず知ることから始めよう～ 場所: フェリス学院 池袋キャンパス 〒238-0046 横浜須賀野町1-38-11	無料	横浜須賀野健康づくり課 感染症対策係 伊藤美子 電話 046-822-4317 FAX: 046-822-4874

訪問看護師研修会 (HIV陽性者の在宅支援を考える)

日時	会場	参加費	お問い合わせ・申し込み先
平成26年6月28日(土) 13:30-16:30 終了しました	大阪府 〒543-0042 大阪市天王寺区烏ヶ丘1丁目2番22号 大阪府看護協会秋谷センター	無料	国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS外来感染症管理センター 事務局 葉山 (ツツキヤ)
平成26年11月8日(土) 13:00-16:30 終了しました	長崎県 〒850-8511 長崎市栄町2番22号 長崎市医師会	無料	TEL 06-6944-1331 FAX 06-6946-3652
平成26年12月13日(土) 13:00-16:30 終了しました	兵庫県 〒650-0011 神戸市中央区下山手通5丁目6番24号 兵庫県看護協会会館	無料	

過去の研修会(平成25年度)はこちら>>>

(2) アクセスログの解析

平成26年1月1日から同年12月31日までの集計を以下に示す。

① ユーザー数

ユーザー数とは、当サイトに訪れたユーザーの数で、何ページ閲覧したかはカウントしない。平成26年1月1日から同年12月31日までの延べ人数は83,186人であ

った。(表1)

表1 1ヶ月ごとのユーザー数

平成26年	ユーザー数
1月	7403
2月	6182
3月	5610
4月	6124
5月	6869
6月	7294
7月	7703
8月	6014
9月	6257
10月	7571
11月	8076
12月	8083
合計	83,186

② ページビュー数

ページビュー (PB) 数は、訪問者が閲覧したページをすべて集計したものである。平成26年1月1日から同年12月31日までの累計ページビュー数は209,664であった。(表2)

表2 1ヶ月ごとのページビュー数

平成26年	PV数
1月	19889
2月	15306
3月	15539
4月	15890
5月	18253
6月	20265
7月	19061
8月	14649
9月	15422
10月	17937
11月	18848
12月	18605
合計	209,664

③ カテゴリー別ページビュー

カテゴリー別のページビュー数は表3のとおりである。なお各カテゴリーは構成するページ数や公開

時期が異なるため、ページビュー数の単純な比較はできない。

表3 カテゴリー別ページビュー

カテゴリー	PV数
HIV 感染症ってどんな病気?	61894
おくすりガイド	58108
抗HIV 治療ガイドライン	28008
外来チーム医療マニュアル	18936
感染初期の診療	15371
HIV 陽性者の歯科診療の課題と対策	3327
推奨処方エビデンスとなる臨床試験	2761
HIV 感染症とメンタルヘルス	2042
その他資料・冊子のダウンロード	1725
症状から探す重大な副作用	1520
地域HIV 看護の質の向上に関する研究	971
当研究班について	921
研修会のお知らせ	913
研究者プロフィール	861
忘れちゃだメール	751

④ 感染初期の診療 (急性感染検査外来)

「感染初期の診療」にはPC/スマートフォン用ページと、フィーチャーフォン (ケータイ) 専用ページがある。1か月ごとのアクセス数は表4のとおり。

表4 1か月ごとのアクセス数

平成26年	全ページのPV数	ケータイ専用ページのみのPV数
1月	1855	76
2月	1249	76
3月	1277	78
4月	1106	111
5月	1312	86
6月	1238	75
7月	1363	78
8月	1334	123
9月	1041	41
10月	1232	82
11月	1256	155
12月	1108	42
合計	15371	1023

参照元 (どのホームページから当サイトに訪れて

いるか)を見るとグーグルやYahoo!などの検索が最も多く、HIV検査・相談マップ、HIV/AIDS先端医療開発センターからの来訪者が続く。(表5参照)

表5 参照元とアクセス数

参照元	訪問数
google	4288
yahoo	2504
HIV 検査・相談マップ	429
HIV/AIDS 先端医療開発センター	337
大阪エイズ情報 Now	228
chotCAST なんば	137

予約システム(株式会社ビッツシステム)では予約をフィーチャーフォンおよびスマートフォンからのみ受け付け可能なため、アクセスしやすいようにQRコードを設置している。またHIV検査相談マップ(www.hivkensa.com/厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV検査相談の充実と利用機会の促進に関する研究」班)にもQRコードを設置してもらっている。これらQRコードからアクセスしてきた訪問数は表6のとおり。

表6 QRコード別 訪問数

QRコード設置元	訪問数
HI検査相談マップ	25
当サイトPC/スマホページ	22

感染初期の診療の各ページから送信されたページアンケートは3件で、3件とも「役に立った」であった。

⑤ 坑HIV治療ガイドライン

平成26年1月1日～同年12月31日まで、PDFを実際にクリックした数は12,797で、2013年版PDFの閲覧数は2,579(平成26年1月1日～同年4月17日)、平成26年版は10,218(平成26年4月17日～同年12月31日)であった。

⑥ 推奨処方エビデンスとなる臨床試験

各試験ごとのページビュー数は表7のとおり。なお各試験の公開日はそれぞれ異なるため、PV(ページビュー)数の単純な比較はできない。

表7 試験別ページビュー

試験名	PV数
SPRING-2	171
HPTN052	162
SMART	158
ACTG5142	131
STARTMRK	123
ACTG5202	120
SINGLE	98
GS102	91
ARTEMIS	74
D:A:D	71
ASSERT	70
GS103	58
NA-ACCORD	42
CASTLE	30
GS934	18
ALERT	15
CNA30024	9

⑦ HIV診療における外来チーム医療マニュアル

HIV診療における外来チーム医療マニュアルはHTML版とPDF版を作成している。HTML版の平成26年1月1日～同年12月31日までのページビューは18,936であった。PDF版の閲覧数は345であった。HTML版各ページのページビュー数は表8のとおり。

表8 ページビュー数

ページ	PV数
資料1) 医療者が普段から備えておきたい援助的コミュニケーションスキルについて	3716
第3章 5) 抗HIV薬・抗HIV療法	1529
第2章 iv HIV感染症と精神科診療	1042
資料6) 自立支援医療	911
資料5) 身体障害者手帳	695
第3章 6) 院外処方の留意点	604
資料2) 服薬における患者と医療者のコミュニケーション事例	514
第1章 5) 各医療者の役割	502
第1章 2) 患者ニーズとおかれた状況に対するチームでの対応	439
第1章 4) チームとは	408

⑧ HIV感染症とメンタルヘルス

研修会の報告やお知らせ、HIV陽性者やその家族・パートナーの方を対象にしたチェックシート(「こんな症状に気づいたら、一度相談してみましょう」)PDF、HIV感染症と精神疾患ハンドブックPDF、研究報告書PDFなどを掲載している。

平成26年1月1日から同年12月31日までのページビュー数は2,042であった。

HIV感染症とメンタルヘルスで公開している各PDF閲覧数は表9のとおり。

表9 PDF閲覧数

PDF	閲覧数
HIV感染症と精神疾患ハンドブック Ve. 1	76
HIV感染症と精神疾患ハンドブック Ve. 2	203
こんな症状に気づいたら、一度相談してみましょう	177

⑨ おくすりガイド

抗HIV薬の添付文書やQ&A、薬カード、患者向説明文書などを掲載している。

表10 ページビュー数

ページ	PV数
抗HIV薬全般に関するQ&A	7123
TDVの添付文書	6200
RALの添付文書	3556
TDFの添付文書	3317
ATVの添付文書	2582
EZCの薬カード	2073
EFVの添付文書	1674
EZCの添付文書	1574
カレトラの添付文書	1517
DRVの添付文書	1254

⑩ その他資料・冊子のダウンロード

ここでは、各研究で作成したPDFを公開している。平成26年1月1日から同年12月31日までの各PDFの閲覧数は表11のとおり。

表11 PDF閲覧数

PDF	閲覧数
HIV/AIDSの正しい知識 [全章版] (山内哲也)	255
HIV/AIDSの正しい知識 [抜粋版] (山内哲也)	115
病院のなかの臨床心理 (暫定版) (仲倉高広)	63
HIV検査相談 要確認・陽性告知のポイント (桜井健司)	128
退院援助のための支援シート (小西加保留)	76
在宅医療を支えるみんなに知ってほしいこと (下司有加)	73

⑪ HIV感染症ってどんな病気？

HIV感染症ってどんな病気？はHIV感染症や免疫に余りなじみのない方の理解を助けるために作成された。31ページで構成されており、平成26年1月1日～同年12月31日までのページビューは61,894であった。

⑫ 早わかり！症状から探す重大な副作用

平成26年1月1日～同年12月31日のページビュー数は1,520で、うちシステムを利用したのは247、システムアプリケーション(オフラインでも動作するシステム)のダウンロード数は19であった。

(3) ページアンケートの集計

アンケートの回答は、平成26年1月1日から同年12月31日までに3件あった。

送信元ページと評価(役に立った/一部、役に立った/役に立たなかった)は以下のとおり。

- ・抗HIV治療ガイドライン：役に立った
- ・CCR5阻害剤：役に立った
- ・感染初期の診療：役に立った

(4) Webサイト全体に関連するアンケートの集計

平成26年1月1日から同年12月31日までのアンケート送信数は2件であった。

- [1. どこで知りましたか]
 - [0]：検索エンジン
 - [1]：その他：他の文献の索引から
- [2. 役に立ったお薬情報]
 - [0]：患者向説明文書(翻訳)
- [3. 欲しい情報]
- [4. ご意見、ご要望]

[5. メールアドレス]

[6. 年齢]

50代

[7. 性別]

女性

[8. あなたの立場]

医療関係者

[1. どこで知りましたか]

[0] : 検索エンジン

[1. どこで知りましたか (その他)]

[2. 役に立ったお薬情報]

[0] : 薬カード

[3. 欲しい情報]

[4. ご意見、ご要望]

[5. メールアドレス]

*****@gmail.com

[6. 年齢]

40代

[7. 性別]

男性

[8. あなたの立場]

患者

考察

既存ページの更新に加え、新規ページを公開するなど、分担研究者に積極的に活用して頂けたと考える。

結論

月間のページビュー数は7,000~10,000を維持していることから、当サイトは継続的に有用な情報発信を維持しているを確認できた。

健康危険情報

該当なし

知的財産権の出願・登録状況

該当なし

研究発表

該当なし

25

「HIV検査普及に対する意識調査」に関する研究

研究代表者：白坂 琢磨 (国立大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター)

研究協力者：谷口 公敏 (株式会社エフエム大阪)

研究要旨

今後の HIV/AIDS に対する啓発などの有効なあり方を考えるために HIV/AIDS に関する意識調査を実施。

研究目的

HIV/AIDS に関する意識調査を実施。FM 大阪での放送番組と WEB を連動してリスナーの意識調査を実施。

研究方法

2014 年 11 月 23 日に HIV/AIDS 啓発特別番組及び大阪エイズ学会開催にあわせて大阪エイズウィークが開催され、その間 11 月 24 日～12 月 4 日までの月～木で 5 分番組で啓発番組を放送し、WEB に誘導し、アンケートを実施した。

(倫理面への配慮)

未成年者、学生など性に関する知識が十分でない層などがサイトに訪れることが想定されるので、その質問内容については考慮した。

研究結果

12/1 の世界エイズデーに迎えるにあたって大阪でエイズ学会が開催され、それにあわせて、大阪エイズウィーク (11/26-12/7) が開催された。この活動にあわせて FM 大阪では 11/23 に 60 分の特別番組「LOVE+RED」を編成し、11/24-12/4 までの 2 週間月曜日～木曜日の計 8 回 5 分番組を編成してこの大阪エイズウィークと連動した。若いリスナーにも関心を高めるため、人気沸騰中の吉田山田をゲストに迎え、専門家の先生による啓発番組を構成し、リスナーの質問には WEB への誘導を行い、その調査を実施した。



図 1 FM 大阪 DJ みい



図 2 ゲストアーティスト 吉田山田

The screenshot shows the website for the 'LOVE+RED' program. At the top, it says 'FM OSAKA' and '鳥居薬品 presents LOVE+RED HIV/AIDSを考えた学ぶ番組'. Below this, there are two main program listings. The first listing is for a special program on November 23rd (Sunday) from 19:00 to 19:55 on TOKYO FM and FM OSAKA, featuring guest artists Yoshida Yamada and DJ Miki. The second listing is for a regular program from November 24th (Monday) to December 4th (Thursday) from 21:55 to 22:00 on FM OSAKA, also featuring DJ Miki. The website includes navigation menus, social media links, and contact information for the organizing company, Torii Yakuhin Co., Ltd.

図 3 番組特設 WEB サイト

考察

HIV/AIDS が日本で取り上げられて、30 余年が経過した。AIDS 発症を抑える新薬の開発は進み、早期に治療・服薬を進めれば、その後の人生を支障なく送れるケースも増えている。その一方、新たな HIV 感染者や AIDS 患者の報告数は増加している。12 月 1 日に世界エイズデーを迎えるにあたり、関西でも、大阪エイズウィーク(11/26-12/7)・エイズ学会(12/3-12/5) がいずれも大阪で開催され、FM 大阪では、番組を通して、HIV/AIDS 啓発活動として、特に若年層にむけて、普段はなかなか知り得ない、HIV/AIDS に対しての正しい理解を深めてもらい、興味を持ってもらうことを目指した。

結論

番組特設サイトのページビューは 5000 を超えて大きな反響を呼んだ。番組は、ゲストに NHK “みんなの歌” で「日々」が話題沸騰中の吉田山田を迎えて、HIV/AIDS に関する様々な疑問を率直な意見として番組で話が展開され、とてもリスナーになじみやすい番組ができたと同時に、WEB に誘導して、YES、NO で答える HIV/AIDS 理解度チェックを実施した。

- Q1. HIV とはウィルスである？
- Q2. 現在日本では、HIV 感染者・エイズ患者が増加している？
- Q3. HIV 感染者のうち、50 歳以上の割合は全体の 2 割である。
- Q4. HIV 感染者が使用した食器を共有したり、握手やキスをしたら HIV は感染する？
- Q5. HIV は蚊を媒介して感染する？
- Q6. HIV は母乳で感染する？
- Q7. HIV は性交渉で感染する？
- Q8. HIV 以外の性感染症の感染していると HIV に感染しやすい？
- Q9. HIV に感染したらすぐ AIDS を発症する？
- Q10. HIV からエイズの発症を抑える薬は開発されている？

以上の問題は一目難しい事のように思えても、番組内容と連動しており、番組を聞いていれば答えが簡単に判るという仕組みであり、このよう番組を通じての啓発はとても効果的であると考える。

健康危険情報

該当なし

知的財産権の出願・取得状況

該当なし

研究発表

該当なし

厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業

**HIV 感染症及びその合併症の課題を克服する研究
平成 26 年度 研究報告書**

発行：平成 27 年 3 月

発行者：HIV 感染症及びその合併症の課題を克服する研究班

研究代表者 白阪 琢磨

〒540-0006 大阪府中央区法円坂 2-1-14

国立病院機構大阪医療センター

HIV/AIDS 先端医療開発センター

TEL 06-6942-1331

